

MH SW ニュース

発行 岡山県精神保健福祉士協会・公益社団法人日本精神保健福祉士協会 岡山県支部事務局

〒700-0915 岡山市北区鹿田本町3-16 岡山県精神科医療センター 相談室内

TEL: 086-225-3821 / FAX: 086-234-2639

e-mail: ok_mhsw@yahoo.co.jp

巻頭言

観測史上、最も早い梅雨明けとの報道がありました。マスク越しでの気温は、体温を超えているのでは？と感じるような今日この頃、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

まだまだ油断は禁物ですが、しっかりと新型コロナウイルス感染症の感染対策を行いながら、少しずつ従前に近い状態の「日常」への兆しを感じることも増えてきました。コロナ前に戻る、ではなく、コロナ禍を乗り越えた「日常」を実感したいものです。

さて、少しずつ従前に近い状態、ということでは、県協会の総会研修を3年ぶりに開催できました。ご参加くださった皆さま、ありがとうございました。また、研修後には総会にあたる総会書面評決の報告会へも多くの方がご参加くださいました。重ねて御礼申し上げます。書面表決書で寄せてくださったご意見及び当日の質疑についての回答は、近日中に県協会ホームページの会員ページへ掲載予定ですので、ご確認ください。

総会を終え、今年度の各事業が本格的に始動致します。各種研修の開催、ソーシャルワーカーデーイベントの開催、7月24日(日)には『県協会の今後を考える会』の開催も予定されています。しばらくはリモートでの開催とせざるを得ないと思いますが、対面でお会いできる日を楽しみに今を乗り切りましょう。

会長 河合 宏





《総会研修のご報告》

6月25日に2022年度総会研修を開催いたしました。

3年ぶりの開催、またリモート研修でしたが、46名の方にご参加いただきました。日頃会うことのできない方の元気な顔を拝見することができ、大変うれしく思いました。

「一隅を照らす」～中村哲先生から学ぶ～をテーマに中村哲先生を長年に渡り取材されてきた、西日本新聞社の中原興平記者を講師に招き、ご講演いただきました。元々は福岡からリモートでお話いただく予定でしたが、「少しでも岡山の精神保健福祉士の方々を身近に感じて話したい」とのご意向を受け、来岡でのリモート研修となりました。画面越しになりましたが、中原記者の丁寧な取材による中村先生の言葉や想いは、参加者の心に届いたのではないのでしょうか。

今回、2名の方より総会研修の寄稿をいただきました。



「一隅を照らす。中村哲先生から学ぶ。

＜自分にとっての川は何か？＞」

医師でありアフガニスタンを中心に

人道支援していた中村哲先生。戦争・テロ・大干ばつ・用水路建設……。ニュースで聞いたことのある遠い国の遠い出来事だと感じていました。その為、この研修がどう MHSW としてどう生かせるだろうか？と考えながら参加させていただきました。

中原先生の講演では緑豊かだった大地が大干ばつでひび割れ、多くの人々が餓死していく現状を生々の声で聴くことができ、泥水を啜る子供の写真には胸が苦しくなりました。

そして、それぞれの正しさでテロや戦争が起き、それが負の連鎖となり巻き込まれ苦しむ人々がいました。そこには正しさとはなにか？正しさとは幻想でしかないのではないかと感じられました。

自分の正しさを過信することでニーズとは違う偏った方向へ進む危うさ・恐ろしさがそこにはありました。それはソーシャルワークにも共通するものだと思います。僕自身、日々の実践の中で正しさに迷想し、無力感と自己否定の波に飲み込まれることがあります。振り返り、考えても正解は得られず患者さん・家族・仲間・運に助けられるばかりです。

中村哲先生がよく使われていた“一隅を照らす。”という言葉にヒントをいただいた気がしています。中原先生の説明では“人と比較せず日が当たらない場所でも自分のできることを懸命に行う。それが世の中を明るくするものだ”とのことでした。それは、まさにソーシャルアクションそのものでした。ソーシャルアクションと聞くとどうしても大きな社会変革という印象を持ってしまいます。しかし、この研修を受けて自分を信じて自分のできることをしていくことがソーシャルアクションなのだと気付かされました。

自分にとっての川（ソーシャルアクション）は何か？これからの大きな課題を頂いた気がしています。

向陽台病院 弓削康治

中村哲先生については亡くなった時にニュースで見た程度の知識しか持ち合わせず参加させてもらいました。研修を聞いて、普段の業務を振り返ってみたことを述べようと思います。

お話しの中で、干ばつで作物が育てられない時に、アヘンを育てるようになったり軍隊に入ったりする人が増えたという話と、川が出来ることで治安がよくなったというエピソードが印象に残りました。普段、自立支援協議会に参加し地域課題について考えることはありますが、それだけで「自分はソーシャルアクションをしている！」と満足げに思っていたことが少し恥ずかしくなっていました。支援で関わっている対象者が抱える問題も、制度の壁で難しいということだけであきらめてしまうことがほとんどだなあと反省しました。中村先生のように「目の前の人たちが困っているのはもしかしたら川がないからかもしれない」「川があれば何か変わるかもしれない」と考えることの大切さを教わった気がします。自分の働く地域にとっての「川」は何だろうか？と考えること・目の前の対象者を色々な視点でアセスメントすること・地域に目を向けることの大切さを改めて考える研修になったと思います。

研修の最後の横山理事の話を聞き、自分も朝見た沖縄終戦記念日のニュースを思い起こし、胸が熱くなりました。社会で起きていることを自分の身に置き換えて考えること、自分や周りの人に起きていることを社会と照らし合わせて考えることができる人間でありワーカーでありたいなと思えた一日でした。ありがとうございました。



支援センター・コンドル 亀川 紗央里

《法人化「検討」ワーキング》

第5回法人化「検討」ワーキングを開催しました。今回は7月24日(日)13:30～開催予定の報告会に向けて、内容や進め方、時間配分、役割分担など細かいところの確認や打ち合わせを行いました。そして、案内の作成に際して報告会の名称を何にするかという話になり、「法人化という言葉は何だか硬過ぎない？」「もう少しフランクな名称の方が良いのでは？」「県協会の在り方についての意見交換が本題なのでは？」等々、ワーキングメンバーの想いや意見を出し合った結果、『県協会の今後を考える会』に決まりました。

「法人化」という言葉だけを見ると、どこか小難しい印象を受けますが、当日はざっくばらんに私たちの県協会の今後について幅広い意見交換ができれば良いなと思っています。

山陽病院 油谷圭介

日時: 令和4年7月24日(日)

13:30～15:00(13:00～Zoom 入室開始)

ミーティング ID: 913 9405 2303

パスコード: 242138

内容: 理事・ワーキングからの報告 グループワーク 全体共有





《研修委員会より》



○全体研修

テーマ: 神出病院事件と精神保健福祉士～私たちはこの虐待問題とどう向き合うか～

講師: 北岡 祐子 氏((創)シー・エー・シー所属、兵庫県精神保健福祉士協会 会長)

竹内 将史 氏(大村病院所属、兵庫県精神保健福祉士協会 理事)

日時: 令和4年9月10日(土) 13:00～16:30(Zoom への接続は12:30～)

研修方法: Zoom を使用したリモート研修(講演とグループワーク)

内容:

私たちの神出病院事件に対する認識は、どのようなものでしょうか？この事件は特別であり、私たちとは関係のないことでしょうか？私たち精神保健福祉士は、どのような立ち位置で、この事件を捉えていったらよいでしょうか？立ち止まってこの事件から学ぶ姿勢が、私たちにはあるでしょうか？

今回、兵庫県精神保健福祉士協会の北岡氏と竹内氏を講師に招き、事件に対する兵庫県協会の取り組みの報告と共に、一連の動きの中での一精神保健福祉士としての内面にも焦点をあてた発表をしていただきます。隣県で起きたことを「対岸の火事」とせず、我がこととして日々の実践に落とし込み、様々な状況の中で精神保健福祉士として立ち振る舞っていく強さや元気を手に入れたいと思います。どうぞふるってご参加ください。

申し込み方法:

参加希望の方は、「氏名」「所属」「メールアドレス」「経験年数」をご明記の上、9月1日(木)までに、下記の E メールアドレスにお申し込みください。

※申し込みのメールを受信後、数日以内に返信をします。もし返信がなければ、ご連絡ください。お申し込みの方には後日研修参加の URL 等をメールでお伝えします。事前に資料のデータも送らせてもらうかもしれないので、データの容量に対応できる機器のアドレスでお願いします。

問い合わせ先: 希望ヶ丘ホスピタル(定森・上原)

TEL: 0868-22-3158

e-mail: sadamori@tokufuu.or.jp

uehara@tokufuu.or.jp

どちらのアドレスでもかまいません。

○基礎コース研修

今年度も昨年に引き続き、zoom を使用し基礎コース研修を行います。

昨年は初めて zoom 使用の試みでした。有意義な研修となるよう、スプレッドシートや YouTube など様々なツールを使いました。そのため、研修委員も慣れておらずご不便をお掛けしました。今年も中身の濃い研修となるよう、スムーズな運営となるよう準備を進めています。ぜひパソコンを準備の上、多くの方の参加をお待ちしています。

申し込みについては、県協会ホームページをご確認下さい。



《座談会～つながるカフェ～の報告》

細く長く、息の長い活動になればと思いスタートした座談会も半年が経過し、5月20日（金）開催で7回目を迎えることができました。今回は「あえてテーマは決めず。集まってわいわいしよう！」で、11名の会員の参加がありました。

講師がいる研修とは違い、参加する皆様が相互に語り、学び合い、つながる機会です。皆様の日常の実践の振り返りやリフレッシュ等にご活用いただければ幸いです。また、身近な方にお声を掛け、お気軽にご参加ください。



つながるカフェに参加させていただきました。なんとなく気になりつつも、zoom でのグループというハードルの高さやなんだかよく分からないグループに飛び込む勇気のなさから参加出来ずにいました。しかし、育休明け・・・人ワーカーの職場・・・コロナ禍という状況の中、まさにつながることが必要と感じ参加してみました。

かなりドキドキの中 zoom がつながると、ゆるーく会が開かれていました。会が進行していき、みんなが言いたいことを言い合い、認められ思考や話がつながっていく。私が普段関わっているグループで大事にしている率直さやオープンな姿勢。年齢や経験に関係なく対等に参加できることを先輩がたが大事に運営してくれているように感じました。自分の実践と向き合い、確認作業しないといけないと改めて思いました。機会があれば参加したいと思います。ありがとうございました。

医療法人 啓光会 HIKARI CLINIC 神庭 奈津美

《SWDのご案内》

今年度は「ソーシャルワーカーってなんだ！？」というテーマで、8月11日にリモートで開催します。（概要はポスターをご覧ください。）

ソーシャルワーカーの役割や魅力などについて、より深く、より理解していただこうと、養成校と医療・福祉の専門職の方々へご案内しました。

今回は県協会の会員の皆さまの参加はご遠慮いただいておりますが、ソーシャルワーカーデーの取り組みを御承知おきくださいますようお願い致します。

ソーシャルワーカー

ってなんだ！？

ソーシャルワーカーデー 2022 IN おかやま

2022年8月11日(木・祝)

参加方法: ZOOM (参加費無料)

ソーシャルワーカーってどんなことをしているの？

ソーシャルワーカーは自治体、福祉施設、学校、病院等様々な場所で活躍しています。
「ソーシャルワーカーって何をしているんだろう？何か気になる！」と思っているあなたへ

ソーシャルワーカーの「生の声」届けます

対象者	ソーシャルワーカーに興味のある方	定員	90名
応募方法	https://forms.gle/fyoM3QNVsLEKQDQw6 QRコード、URL からお申し込み下さい		
内容	13:00 開場 13:15 開会挨拶 13:20 シンポジウム「ソーシャルワーカーってなんだ!？」 ・コーディネーター 岡崎利治氏 （日本ソーシャルワーク教育学校連盟中国・四国ブロック） ・シンポジスト 福田 倫子氏・土屋 恵希氏（岡山県医療ソーシャルワーカー協会） 中川 浩次氏・佐藤 健志氏（岡山県社会福祉士会） 大西 展代氏・松本 優作氏（岡山県精神保健福祉士協会） 14:55 閉会挨拶 15:00 閉会		
申込締切	2022年7月31日(日)	お問い合わせ	swd.okayama@gmail.com

主催 ソーシャルワーカーデー2022 in おかやま 実行委員会
（公社）岡山県社会福祉士会・岡山県精神保健福祉士協会・（一社）岡山県医療ソーシャルワーカー協会（職不同）
 協賛 （一社）日本ソーシャルワーク教育学校連盟中国・四国ブロック



新入会員の紹介コーナー



年度が変わり、新人の方だけではなく、現任の精神保健福祉士の方も多く入会して下さっています。今回はお二人のご紹介です。今後ともよろしくお願い致します！

【名前】 濱 早織

【所属】 医療法人 社団造山会 まきび病院

【趣味】 最近泳げていませんが水泳が好きです。

【目標】 できることを一つずつ。

【一言】 約10年ぶりに、また岡山でお世話になっております。どうぞよろしくお願いいたします。

【名前】 向川 利恵(ムカガワ リエ)

【所属】 救護施設たましま寮

【趣味】 娘の推し活を推すこと。ひたすら娘の推しを追って、娘と一緒に情報共有することを楽しんでいます。

【目標】 どんな環境におられる方でも、その方が希望をもってご自身の人生を歩んでいけるよう、共に考え、寄り添っていけるような支援者でありたいと思っています。

【一言】 救護施設に入職し、20年目に入りました。あまり外部の方との関わりがないため、この入会を機に、色々な方のご意見に触れ、視野を広げていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



《理事会の報告》

開催日時: 令和4年5月13日(金) 19:00~21:00

開催場所: オンライン

出席者: 河合・中山・横山・正岡・木本・奥田・牧野・堀家・春名・黒岡・谷口・白川(敬称略)

協議内容(概要)

- | | |
|----------------------------------|---------------|
| ○研修について(全体・基礎コース・総会研修) | ○自殺防止対策事業について |
| ○Zoom運用について | ○日本協会の動き |
| ○災害関連 | ○つながるカフェについて |
| ○会員情報について: 入会・退会希望者・会員情報の変更・会費納入 | |
| ○派遣・推薦・後援・周知・他機関からの協力依頼について | |
| ○法人化ワーキンググループについて | ○総会について |
| ○財務について | |





《事務局からのお知らせ》

①県協会事務局アドレス変更のお知らせ

このたび、岡山県精神保健福祉士協会のアドレスが変更となりました。

旧アドレスは令和3年12月末で利用できなくなりました。事務局へメール連絡を頂く際には、下記新アドレスに送信よろしくお願いします。

旧アドレス: psw-ok@r3.dion.ne.jp



新アドレス: ok_mhsw@yahoo.co.jp

②会員情報(氏名・所属先・郵送先など)の変更がある方は、岡山県精神保健福祉士協会ホームページの「入退会届、変更届について」から変更届をダウンロードし、早めに事務局へFAX・郵送・持参してください。ダウンロードが難しい方は事務局にご相談ください。電話のみでの変更は受け付けておりませんので、変更届の提出をお願いします。

なお、退職・異動などで連絡が届かない状況になっている方もおられます。変更・退会届が提出できていないと思われる方がおられる場合は、把握されている方からの連絡もお受けしておりますので、ご協力をお願いします。

ホームページ: <https://psw-okayama.wixsite.com/psw01>

(会員ページ パスワード: okym_psw)

③令和4年度の県協会会費(年会費2,000円)の振り込みについて、早めの入金をお願いします。なお、会員が複数おられる機関は、払込書に納入者全員の氏名をフルネームで記載していただきますようお願いします。

口座記号番号: 01360-2-102523(ゆうちょ銀行)

加入者名: 岡山県精神保健福祉士協会(オカヤマケンセイシンホケンフクシキョウカイ)

④令和3年度の県協会会費の納入ができていない方は、同じく上記口座への振り込みをよろしくお願いします。また、二重払いとなる方がおられますので、未納の心配がある方は事前に事務局にお問い合わせいただけると助かります。2年間の会費滞納がありますと、本人の意思とは関係なく退会となりますので、ご注意ください。

⑤新入職員など入会を考えておられる方がおられましたら、入会届と併せて、メーリングリストへの登録も行うよう声掛けをお願いします。なお、メーリングリスト登録についてもホームページに記載していますのでご確認ください。

岡山県精神保健福祉士協会 事務局

〒700-0915 岡山県岡山市北区鹿田本町3-16

岡山県精神科医療センター 相談室内 (担当: 牧野・黒岡・谷口・白川)

TEL(086)225-3821 / FAX(086)234-2639

E-mail: ok-mhsw@yahoo.co.jp

